

# 注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。  
■文中で旧 URL (<http://www.nougyou.kitakami.iwate.jp/agri/>) を記載している場合、新 URL (<http://i-agri.net>) に読み替えてください。

平成14年 1月

## 病害虫防除技術情報 No.13 - 4

岩手県病害虫防除所

### 平成13年にきゅうりで発生したカメムシ類による被害とその防除

1. 平成13年7月に県内の多くのきゅうり圃場でカメムシ類(主にクサギカメムシとチャバネアオカメムシ)の寄生が見られた。
2. カメムシ類による寄生の様子を再現したところ、以下の被害が見られた。  
カメムシ類が及ぼす被害は、吸汁による果実の奇形と空洞で、その程度は、吸汁される果実の生育段階が早いほど大きい。  
被害程度は、チャバネアオカメムシよりクサギカメムシの方が大きい。
3. カメムシ類の防除は、アブラムシ防除を対象とした薬剤(有機リン剤、ネオニコチノイド剤、合成ピレスロイド剤)で可能である。

#### 発生状況

- ・防除所が巡回調査を行っている圃場の75%で発生が見られた(図1)。
- ・発生時期は、7月上旬から見られ、7月中~下旬の発生が最も多かった(図1)。
- ・きゅうりに寄生の見られたカメムシ類は、主に「クサギカメムシ」と「チャバネアオカメムシ」であり、その優占種は、圃場により異なった。

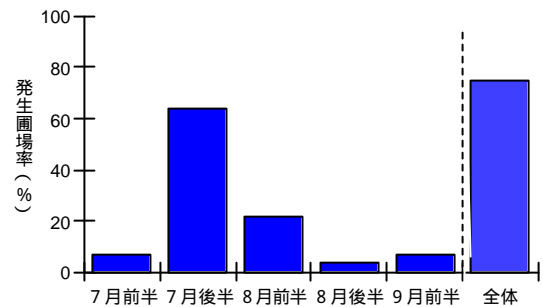


図1 発生状況(巡回調査地点28圃場中)

#### きゅうりに見られたカメムシ類



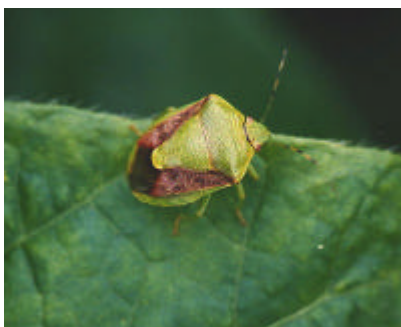
クサギカメムシ(成虫)



クサギカメムシ(幼虫)



クサギカメムシ(卵)



チャバネアオカメムシ(成虫)



チャバネアオカメムシ(幼虫)



チャバネアオカメムシ(卵)

## カメムシ類による被害の様子



吸汁痕  
( 内のえくぼ状のくぼみ )



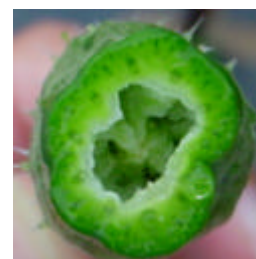
吸汁痕 (断面)



奇形と空洞



空洞



空洞

## 被害の再現結果 (調査: 放飼期間終了後)

カメムシ種類	果実生育段階 (放飼時)	吸汁部位	果実被害の様子	備考
クサギ カメムシ	開花時	果実中央部	中央部の曲がり	吸汁痕深い
	果実長 3 cm	"	"	"
	果実長 5 cm	果実肩	吸汁痕のみ	"
チャバネ アカカメムシ	開花時	果実中央部	吸汁痕のみ	吸汁痕浅い
	果実長 3 cm	"	"	"
	果実長 5 cm	果実肩	"	"

概要 実施場所: 農研センター圃場 (北上市) 品種: 夏ばやし (自根)  
放飼期間: 8月2日 ~ 14日  
放飼方法: 果実をネット袋で覆い、その中へカメムシ類を3頭 / 袋ずつ放飼した。

## カメムシ類の防除

カメムシ類の防除は、アブラムシを対象とした薬剤で可能である (表1)。

表1 カメムシ類に効果のある薬剤

薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	効果
スミチオン乳剤	1000	収穫前日まで	5回	
アドマイヤー水和剤	2000	"	3回	
テルスター水和剤	1000	"	3回	

効果) : 優れる : 有効

注) 薬剤は、「りんご殺虫剤の効果適用表(カメムシ類)」(平成13年度岩手県防除基準)より引用した。